

# コロナ禍の商店街の取り組み

7月17日より申請受付が開始された、「ストップコロナ！対策認定制度」へ申請を行った店舗の入口には、今月号の表紙でご紹介した「認定ステッカー」が見られるようになりました。

また、プレミアム付き商品券などを発行し、新型コロナウイルスの影響で落ち込む地域経済を支援する動きも見られます。

こうした中、前月号に引き続き、県内商店街の理事長のメッセージと、県内商店街・店舗の取り組みを紹介します。今回は、前橋市内、沼田市内、高崎市内の6商店街です。



お客様同士の密を防ぐため、床にソーシャルディスタンスのマークを貼付。(左)



客席を離し、ソーシャルディスタンスを確保。(上)  
隣り合う客席には、仕切りを設置。(下)



出入口に除菌用アルコールを設置。(上、左)



院内で殺菌効果が  
高い次亜塩素酸を  
含んだ水を生成。  
清掃に利用すると  
ともに、組合員へ  
配布。(左)



- ①カネコ帽子(帽子店)
- ②大川屋本店(蕎麦店)
- ③幸煎餅(製菓店)
- ④フクロ歯科医院(歯科医)



間渕理事長

立川町大通商店街振興組合

理事長 間渕廣一  
組合員数 31人

コロナという百年に一度の危機には、立ち向かうのではなく、往(い)なす方がよい。商店街の役割、お客様との付き合い方を見直す機会と捉え、次につなげたい。

## 弁天通り商店街振興組合

理事長 岸 篤美  
組合員数 31人



岸理事長

夏から秋にかけては、本来、祭りが盛大に開催される時期。やりたくても、やれないのはとても辛い。お客様、商人、生活者が共存できる街に、早く戻って欲しい。



手作りマスク用の材料コーナーを設置。(上)



祭り用の手ぬぐいを利用して、店内でマスクを製作・販売。デザインに特徴があり、大変人気で、既に1万枚を販売。(上、右)



市内の石材店から寄付のあった「アマビエ」の石像を境内入口に設置。コロナ終息を祈願。(右)



④弁天手芸店(手芸店)  
⑤大蓮寺(寺院)  
⑥マメゼン商店(祭用品店)  
⑦弁天ワッセ(9月3日撮影)

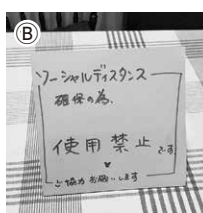
毎月3日に開催する農作物等ものづくりの人達の市。本年5月は中止したが、それ以外は開催し、もうすぐ200回を迎える。(右)

エステルームはお客様同士の間隔を広げ、間に仕切りを設置。(右)

さらに、施術中、スタッフは、マスクとフェイスシールドを活用し、安全性を高めている。(下)



混雑時でも、お客様を席へ案内する前に、必ず、テーブル、椅子、メニューを除菌・消毒。(右下)  
隣同士のお客様の密接を防ぐため、利用できる席を減らす。(下)



出入口にPOPと除菌用アルコールを設置。(右)  
ランドセルの予約で混雑する時期は、店外にテーブルを設置し、店内で密にならないよう配慮した。



⑧鈴木ストア(化粧品・エステ店)  
⑨バーラーレストランモモヤ(レストラン)、⑩トヤマかばん店(ランドセル・鞆店)

## 前橋中央通り商店街振興組合

理事長 大橋 慶人  
組合員数 50人



大橋理事長

コロナで商店街活動が非常に制限されている。改めて商店街の役割を考え直していくが、やはり、お客様に五感で感じてもらうフェイスTOフェイスに拘りたい。

## 沼田市下之町商店街振興組合

理事長 傳田直史  
組合員数 21人



傳田理事長

コロナが終息しないと、商店街活動は何もできないが、それぞれの店はこれをキッカケに、売り方・仕事のやり方を変えていく必要性を強く感じている。



レジ前など、お客様との対面する場所にビニールシートを設置。(左)



店の出入口に、除菌スプレーと空間除菌脱臭機を設置。(右)



店頭にマスクの着用についてPOPを貼り、呼びかけを行う。(左)



ビニール手袋はアイテム数を増やし、コーナーを拡充。(左上)

マスクコーナーを分かり易い場所に配置(左)



①菊屋(文具・紙販売)  
②大丸屋製菓(和菓子店)  
③イシザワ(日用品雑貨店)

## 沼田市中の会商店街振興組合

理事長 中島庸一  
組合員数 26人

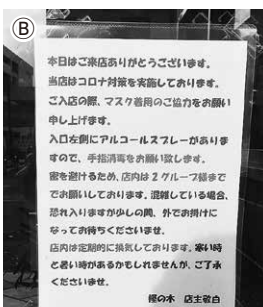


中島理事長

コロナで商店街の往来が減ってしまった。地域のつながりを保つていくためにも、何でも中止ではなく、人が集う場所を作るといった役割を商店街は果たすべき。



レジ前など、お客様との対面する場所にビニールシートを設置。(上)



密にならないように、入店を2グループまでに制限する旨を入口に掲示。(上)  
店内の換気をさらに良くするため、新たに換気扇を設置。(下)



地元野菜や果物、手作り総菜等を販売する「なかま市場」を10月より再開。(左)



①林屋履物店(たばこ・宝くじ販売)、②洋菓子工房 樫の木(洋菓子店)、③なかま市場、④中島屋呉服店(呉服店)



手作りマスクと夏用のマスクを販売。(右)

## 商店街振興組合高崎中部名店街

理事長 矢嶋伸也  
組合員数 60人



矢嶋理事長

コロナ感染拡大を防止する観点から、商店街イベントは開催しづらい。しかし、各店舗は、安全対策を行っているので、是非、商店街に足を運んでいただきたい。

お客様との相談コーナーに、アクリル板を設置。(左)



密を避けるため、入店人数を制限する旨の告知を出入口に設置。(上)  
試着した制服の除菌やネット・電話による来店予約の仕組みを新たに導入するなど安全性を向上。



店内の対面する席にはアクリル板を設置。(上)  
新たにテイクアウトを開始し、お客様に好評。(下)



鯖江の眼鏡メーカーによる、眼鏡を掛けたまた使えるフェイスシールドを販売。医療関係者に好評。(左)

①サウンドエコー(家電店)  
②TSUNASHIMA(制服販売)  
③room's(飲食店)、④ケン(眼鏡店)

関係団体  
ニユー・ス

## 群馬県中小企業団体青年協議会 令和2年度第1回理事会

8月25日、前橋市・群馬県中小企業会館において、令和2年度第1回理事会を開催した。

なお、本理事会は、マスク着用、アルコール消毒液の利用、十分な換気をするなど新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら行った。



議事進行する横田会長

横田裕正会長が議長となり、「全国講習会の開催」、「今後の青年協議会事業の実施」などについて議論を交わした。



窓や入口を開放し、十分な換気を行いながら理事会を開催

今年度は、2月26日に全国中小企業団体中央会が主催する「令和2年度組合青年部全国講習会」が群馬県で開催される予定となっており、開催に向けたスケジュール、講師の選定等について活発な意見交換がなされた。

続いて、今後の事業計画、「令和2年7月豪雨」に関する支援金への支出等を決定し、理事会を終了した。